

漁川ダムでの長期熟成加工品の実証実験について

このたび、市では、北海道開発局札幌開発建設部と協力し、恵庭市内事業者の商品について、漁川ダム右岸グラウトトンネルのうち、ダム管理上支障のない空間を活用し、長期熟成加工品の保管実証実験を行うこととなりました。

(実験目的)

恵庭市の地域振興の一環として、漁川ダムで保管品の実験を行い、ダム及び地域の名産のPR、並びに地域の名産のブランド化、ひいては地域産業活性化の推進を図ることを目的としています。

実験場所が保管品の貯蔵場所として適しているかを検証するため、北海道開発局札幌開発建設部から市に対して温湿度等データの提供を行い、市から北海道開発局札幌開発建設部に対して実験経過や結果に関する情報提供等を行うものとしています。

(実験場所)

施設名 漁川ダム右岸グラウトトンネル

所在地 北海道恵庭市漁平

使用面積 5㎡区画（入口より30m奥を起点に、幅1m×奥行5m）を基本

実験に参加する市内事業者が複数の場合、5㎡区画×事業者数

(実験事業者)

市が恵庭市農商工等連携推進ネットワーク会員に周知を行い、希望した事業者のうち、関係者間での協議が整った事業者 4事業で3企業

漁川ダムトンネル位置図



右岸グラウトトンネル状況写真
断面：幅2.0m、高さ2.4m
延長：約200m

貯蔵可能面積について
出入口より30m程度奥から
幅1.0m、延長20mを想定
（貯蔵する量により、
占用延長を決める）

